公益活動報告書≪新規登録団体用≫

令和７年１月改訂

（宛先）岡崎市長　殿

令和８年11月6日

団体名　おたがいさまの畑ヒガオカ　　代表者　高木　順子

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■１　団体の活動目的達成に向けて、１年間でどのような公益活動をしましたか。

※登録申請前１年間で①継続的な②公益活動を実施していないと市民活動団体登録はできません。

活動日 又は期間	場所	公益を受けたものは？	受益者（会員以外）人数※1	活動内容
令和７年11月６日 ～　現在 毎週木曜日（雨天および猛暑日は除く）9：00～10：30	おたがいさまの畑ヒガオカ 明大寺町西郷中39番地	・地域住民 このほか、民生委員、包括支援センター、ひきこもりを考える会ゲートキーパーおじぎ草　等	20人	・菜園作業（畝づくり、植付け、手入れ、収穫など）を協働して行った ・居場所づくり（茶話会、井戸端会議） ・引きこもりがちであった人の参加支援につながった
令和８年４月２日 10：00～12：00	おたがいさまの畑ヒガオカ 明大寺町西郷中39番地	・地域住民 ・包括支援センター ・社会福祉協議会	40人	・竜美包括支援センターとのコラボ企画「さくらCafé」を実施。敷地内の桜を楽しみながら、包括職員による健康講座を行った。参加者は小学生～高齢者までと幅広く、世代間交流につながった。

※1　公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境など＞

■２　前項１に基づき、１年間の団体活動で岡崎市（広く市民社会一般）に何をもたらしましたか。

おたがいさまの畑ヒガオカは、１年間の活動を通じて、地域住民の健康づくり、孤立防止、交流促進に寄与し、地域の公益に資する成果をもたらしました。

まず、菜園作業（畝づくり、植付け、手入れ、収穫など）を参加者同士が協働して行うことで、軽度の身体活動の機会が生まれ、健康増進や介護予防につながりました。実際に、握力が向上するなど生活機能の改善が見られた参加者もいます。また、木陰でのお茶や井戸端会議など、気軽に立ち寄れる居場所づくりを通じて、地域の交流が促進されました。日中ひとりで過ごすことが多かった方や、引きこもりがちであった方が参加できるようになり、社会参加のきっかけとなりました。畑での活動が、孤立防止や地域とのつながりの再構築に寄与しています。

さらに、地域包括支援センターとの連携により、４月２日に「さくらCafe」を開催しました。敷地内の桜を楽しみながら、包括職員による健康講座を実施し、地域住民の健康意識向上と多機関協働の促進に貢献しました。これらの取り組みを通じて、地域の助け合い文化の醸成、健康づくり、孤立防止、交流促進といった公益的な効果を岡崎市にもたらしています。